

旭山動物園『ボルネオへの恩返しプロジェクト』への塗料提供について

弊社は、北海道・旭山動物園が実施する「ボルネオへの恩返しプロジェクト」を通し、本年8月に行われたマレーシア・サバ州(ボルネオ島)「野生生物レスキューセンター」の塗装ボランティアに塗料を提供いたしました。

このたび、ボランティア参加団体の皆様より塗料提供に対する御礼の言葉を頂戴しましたことを受け、本プロジェクトへの当社協力概要をご紹介します。

この塗装ボランティアは、野生のボルネオ象を保護する「野生生物レスキューセンター」の柵の塗装を、旭山動物園スタッフと旭川塗装工業協同組合青年部が中心となり、現地小学生とともに行ったものです。暑い中の作業でしたが、子供たちは慣れない手つきで刷毛を持ち、笑顔いっぱいがんばってくれました。

- 提供塗料 エポマリンGX(1色、4缶)
PARATHANE T814(1色、4缶)
専用シンナー(5缶)
- 提供先 マレーシア・サバ州(ボルネオ島)「野生生物レスキューセンター」
- 塗装作業
 - ・2014年8月実施
 - ・旭山動物園、旭川塗装工業協同組合青年部、旭山動物園くらぶ、アスタ、福山市立動物園、ボルネオ保全トラスト・ジャパン、台湾動物園基金、コタキナバル在住関係者の16名と、地元の小学生51名が作業に参加
 - ・約3日間・子供たちは3日目の作業に参加
 - ・レスキューセンターの柵60基を塗装



- 参考URL 「NPO法人 ボルネオ保全トラスト・ジャパン」Webサイト内記事
 - ・「ボランティアツアーで、レスキューセンターのペンキ塗りをしてきました」
http://www.bctj.jp/wrc/wrc_painting_event.html
 - ・「地元の小学生51人と一緒にペンキ塗りのイベント。紙芝居も盛り上がりました」
http://www.bctj.jp/wrc/painting_with_kids.html
- 添付資料 旭川塗装工業協同組合様、旭山動物園様からのレター

本件に関するお問い合わせ先： 関西ペイント株式会社
製商品企画室 由良 和美
TEL:06-6203-5013 FAX:06-6203-0187

関西ペイント 株式会社 御中
Kansai Coatings Malaysia Sdn. Bhd. 御中
関西ペイント販売 株式会社 御中

平成26年 11月 7日
旭川塗装工業協同組合 青年部長 中嶋 昌則
旭山動物園 園長 坂東 元

拝啓

時下、貴社におかれましては益々ご清栄の事とお喜び申し上げます。

さて、8月に旭山動物園様と共同で行いました「マレーシア・ボルネオ島野生生物レスキューセンター塗装ボランティア」の活動にあたりまして、海外本部・現地法人を通じ塗料等をご提供いただき、またその準備段階におかれましても、販売会社を含めて大変なご尽力をいただきましたことを、誠にありがとうございましたと感謝申し上げます。

おかげさまで、天候に恵まれ、また現地の子供達やレスキューセンターの作業員を含む現地の方との共同作業のおかげもあり、今回のボランティアを無事に完了することが出来ました。

去る9月23日に、今回の作業を含めた第1期工事、及び追加工事が竣工し、マレーシア・サバ州野生生物局への引渡し式が行われました。

今回の施設建設がゴールではなく、施設が地元の方によって運用され、プランテーションに迷い込んだゾウを救出し安全な森に帰すことができることで、初めてこの施設が活用されたこととなります。今回の私達の活動は、ボルネオ島に卡ろうじて残る豊かな生態系の保護に微力ながらも力になれたと感じております。同時に、塗装という仕事を通じて国際的な貢献をすることができるということを、業界内や若い世代の人たちにも知らしめるよいきっかけになったのでは、と考えております。

私達塗装業界におきましては、使い古された表現ではありますが、「製・販・装」が一体となって初めて「塗装」を納めることができます。今回は海外で塗装を行うということで、現地の流通や塗装事情、その他現地独特の文化などについて、現地法人より得た情報を、販売会社を經由して私達に伝えていただき、私達の要望も、私達が信頼を置いている販売会社の担当者に相談しながら、国際本部、現地法人へと話が伝わっていきました。言葉では表現し尽せませんが、国内外問わず、製・販・装が一体となることの重要性を、今回改めて実感することになりました。

今回の活動をばねに、これからも、業界発展のためによりいっそう尽力していく所存でございます。今回の準備に際しましては、私どもの至らない点多々あったのではないかと感じておりますが、今後ともご支援賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

まずは、書面をもってお礼申し上げます。

敬具